

はねっと ①

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクピト」

カタチにすることで みんなにとってもっといい社会に

わたなべ たつや
グラフィックデザイナー **渡邊 竜也**さん(38)

「仙台がより良くなることに関わっていきたい」と話すのは、デザイナーの渡邊さんです。保育施設のロゴマークや福祉施設との商品開発、展示グラフィックや建築サインなどを手掛けています。渡邊さんが、現在力を入れているのは、様々な配慮を表すピクトグラムの開発。ピクトグラムとは、非常口やトイレのマークに代表されるような、情報や注意を示す絵文字です。開発のきっかけは、障がいの有無や年齢に関わらず楽しめるコンサートの、広報物の依頼を受けたこと。コンサートでは、休憩スペースの設置やイヤーマフ持込可、手話通訳や車椅子席があるなど、誰でも楽しめる工夫や配慮を行っていました。運営に携わるNPOから、「来場者が、あらかじめ自分に必要な配慮があるか分かるよう、視覚的にピクトグラムで伝えたい」との声を受け、渡邊さんはチラシ用に急遽制作。すると、合理的配慮の義務化など社会の変化も伴い、他の団体や施設から「使いたい」と声がかかるようになりました。そこで、誰でも無料でダウンロードし使えるようにしようと、2024年から助成を受け、本格的に開発を開始しました。開発にあたっては、障がい者や外国人、子育て支援に取り組むNPOにもヒアリング。「それぞれの視点での悩みや気づきに触れ、ハッとすることの連続でした。例えば、外国人の支援団体からは、外国人は、宗教上お祈りができる場所があるかを気にするということなどです」と振り返ります。

開発の中で渡邊さんに芽生えたのは、「ピクトグラムが、みんなが気軽に配慮を考え、行動するきっかけになったら」という思いです。「今後は、様々な領域の人と一緒に、課題解決のための



プロジェクトに関わっていきたい」。デザインの力で、みんなにとって暮らしやすい社会を目指します。

渡邊デザイン

Mail:hello@wtnbd.com



HP▶

ピクトグラム

ダウンロードはこちら



合理的配慮とは？

障がい者の権利をはばむ社会的障壁を取り除くために、個別の状況に応じて行う、必要かつ適当な変更や調整のことです。

障害者差別解消法により、行政機関や民間事業者に義務付けられています。



～読者の目線から～社会の「気になる○○」

母や周囲の人たちへの感謝を、ひとり親家庭の応援に変えて

ほかさのよしかず
呑みどころ ほかさの 店主 外園義一さん

一番町の飲食街「東一市場」で、沖縄・九州料理の居酒屋をやっています。50代になり、人の役に立つことがしたいと思うようになりました。飲食業を16年やってきたこともあり、2023年から月に1回程度自分の店で、ひとり親家庭を対象に無料で、ソーキそばを振舞う「子どものおそば屋さん」をはじめました。毎回1～3組の親子が来てくれます。帰り際、お子さんが「美味しかったよ」と伝えてくれることが嬉しいです。ひとり親家庭の食事支援に意識が向いたのは、私自身が母子家庭で育ったから。出身は鹿児島県で、小学4年生のときに父が亡くなり、母は高齢者施設で調理師をしながら、姉と私を育ててくれました。40歳手前まで世間知らずな自分がいて、親のありがたみを感じるようになったのは、母が病気になってから。私が食べたいものを作ってくれたり、好きな物を買ってくれたり、一生懸命育ててくれたことに感謝しています。母は2021年に亡くなりましたが、「人を大事にしなさい、尽くしなさい」という口癖が、私の活動の根っこにあります。一杯のおそばですが、お子さんと、毎日頑張る親御さんに、お腹を満たして元気になってもらいたいと思っています。



▲提供メニューは、外園さん自慢のソーキそばとおにぎりのセット

問合せ

TEL 022-398-7271 (@nomidocoro_hokazono45) ▶
InstagramのDM

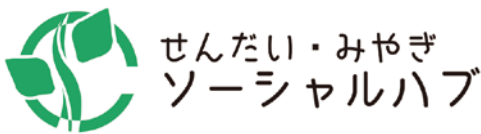
開催情報はこちらから



活動を支える、人、モノ、こと「募集して☑」

社会課題の解決に、あなたの知識や経験求む！

せんだい・みやぎソーシャルハブでは、プロボノに参加したい人と、受け入れたい団体をつなぐコーディネート事業に取り組んでいます。プロボノとは、自身の経験や知識を活かして、ボランティア活動や副業として社会貢献活動に携わることです。これまで、多様な経験を持つ人たちが事業を通じ、地域で活動する人への取材・ライティング、文化芸術を中心に活動するNPOの事業の振り返りなどに参画しています。せんだい・みやぎソーシャルハブは、今後もさまざまな団体とプロジェクトを打ち出し、つながりのきっかけづくりを進める予定。募集中のプロジェクトは、ホームページから確認できます。



HP▶



note(プロボノ体験談)▶



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2025年1月4日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

